

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	浄水施設耐震化事業			
担当部・課名	上下水道局 浄水課	評価者(課長)	市川 秀之	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	上水道需要者	事業の目的(意図)	浄水施設が老朽化する中で耐震化工事を実施することで安定供給が促進できると共に、劣化補修工事を併せて実施することで施設の長寿命化を図る。
事業の内容(手段)	大迫田浄水場について平成28年度に基本計画・実施設計を完了しており、平成30年度より7箇年計画で耐震化・劣化補修工事を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	1.0	0.0	1.0
					実績値	1.0	0.0	
					達成度(%)	100.0%	0.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	239,613	0	66,500	0	24,000
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	219,038	0		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	14,654	10,315			
	人工数	人	2.00	1.40	1.20		
	支出コスト	千円	決) 233,692	決) 10,315			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設の耐震診断を実施し、耐震化工事の必要性について仕訳を行ってきた。その結果を踏まえ耐震化・長寿命化計画を策定した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性	<input type="checkbox"/> 有効性	<input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由			
	事務事業の方向性	計画どおりに事業を推進していく。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、耐震化に向けた取組を計画的に実施する必要がある。		

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき、楠本浄水場は将来、廃止の方向性で動向している。耐震性の有無については、簡易耐震診断により判定を行い、耐震補強の必要性が生じた時に業務委託により詳細な耐震診断および耐震補強設計を実施することとする。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	大迫田浄水場耐震化工事事業計画	周南市東部地区の安定給水を図ることができる。	平成30年度からの工事着手に向けて事業計画を精査し発注準備を進める。	0 否	1.40		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	水道施設の統合事業			
担当部・課名	上下水道局 浄水課	評価者(課長)	市川 秀之	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600503	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)稼働率の適正化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	一の井手浄水場、菊川浄水場	事業の目的(意図)	浄水場の施設統合を進めることでランニングコストの縮減と今後の設備投資費用の抑制が見込まれる。
事業の内容(手段)	一の井手浄水場の浄水処理を中止し、菊川浄水場の給水区域へ統合することで低水準であった菊川浄水場の稼働率を向上させる。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	55.6	55.6
				実績値	52.6	55.1	
				達成度(%)	94.6%	99.1%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	43,848	283,690	0	0
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	5,805	280,266		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	19,783	28,735			
	人工数	人	2.70	3.90	1.40		
	支出コスト	千円	決) 25,588	決) 309,001			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度より事業に着手し、平成30年2月15日をもって一の井手浄水場の浄水処理を休止し、菊川浄水場への統合が完了した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	統合が完了しランニングコストの縮減効果について検証していく。また、統合後に不要となる施設の管理・処理方法について検討が必要となる。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、事業を進めていくこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
一の井手浄水場の菊川浄水場への統合が完了し、実運用の結果、想定していたよりも動力費が大幅に増え、ランニングコスト面で効果が縮減した。今後、運転管理方法の見直しを検討する必要がある。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	北山加圧ポンプ所築造工事	菊川浄水場から一の井手給水区域への送水	加圧ポンプを設置し一の井手浄水場まで送水をする。	159,769 否		2.10	
②	一の井手浄水場電気設備及び送水ポンプ更新工事	菊川浄水場から一の井手給水区域への送水	統合後に必要な設備の更新を行う。	120,497 否		1.80	
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	水道施設の統合事業			
担当部・課名	上下水道局 浄水課	評価者(課長)	市川 秀之	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600504	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)安全管理の強化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	上水道需要者	事業の目的(意図)	浄水場、配水池等へ監視カメラを設置することで迅速な不法侵入者対応やテロ抑止力の向上を目指す。また、自動水質監視装置を設置し安全な水の供給に努めるものである。
事業の内容(手段)	各浄水場および配水池の必要箇所に監視カメラを新設し、またこれらカメラ設備の維持管理を行っていく。浄水場の主要ポイントに自動水質監視装置(油膜検知器・バイオアッセイ監視装置等)を設置する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
監視カメラ設置箇所数	監視カメラが設置している浄水場および配水池等の箇所数	箇所	目標値	6.0	7.0	7.0	
			実績値	6.0	7.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	7,977	34,118	142,000	12,111	0
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	6,626	26,594		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		菊川浄水場の既設監視カメラが落雷等の影響により使用不可となったことについて、更新を行う。	
正職員人件費	千円	10,258	27,262	1.10			
人工数	人	1.40	3.70				
	支出コスト	千円	決) 16,884	決) 53,856			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	主要浄水場には監視カメラを設置済みであり、現在カメラ設備の分解整備等の維持管理が主体となっている。平成29年度は、柏原浄水場に設置を完了した。		課題・問題点	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	テロ対策の一環としての監視カメラ設置箇所の必要性について検討が必要である。また、今後は防犯訓練等を充実していく。		評価責任者コメント	安心で安全な水の供給のため、浄水場の安全対策を進めていくこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
テロ対策として監視カメラの設置箇所、台数、運用方法等について検討が必要である。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	柏原浄水場監視カメラ設置工事	犯罪抑止力となり安全管理面での効果が向上する。	場内に録画機能の付いた監視カメラを2~3台設置し、浄水課事務所内で状況確認ができるようモニターを設置する。	6,966 否	0.70		
②	菊川浄水場非常用発電機更新工事実施設計業務委託		非常用発電機を更新するための実施設計業務委託である。	5,739 否	1.10		
③	菊川浄水場非常用発電機更新工事	停電時においても安定給水を継続するための設備更新工事である。	現発電機は、昭和59年に設置されたものであり交換部品の入手が困難となっているため更新をするものである。	0 否	1.00		
④	中山中継ポンプ所受変電設備改造工事	停電時においても安定給水を継続するための設備改造工事である。	中国電力からの受電を2回線とすることで停電時のリスクを低減させる。	13,889 否	0.90		
⑤							